



2013～14 年度
国際ロータリー会長

Ron D. Burton

Weekly Report Niigata



2013～14 年度
新潟ロータリー会長

山本 正治



ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を

2013～14 年度 国際ロータリーのテーマ

新潟 RC 12 月第 4 例会 (2013.12.24) No.3023

(1) ロータリーソング「四つのテスト」斉唱

(2) 山本 正治会長挨拶

会長挨拶もロータリーに拘って半年経ちました。色々な失敗もありましたが、会員の皆さまの寛容なロータリアン精神で助けていただき、どうかここまで到達したというのが偽らざる気持ちです。あらためて皆さまに感謝とお礼を申し上げます。この機会に、会長と幹事の役割などについて自己点検してみました。

もう1年以上前のことですが、隣に座った元会長さんに会長の責務を尋ねたところ、『今さら人に聞けないわかりやすいロータリー』が参考になると教えていただきました。会長をやっている時、いつも参考にしていたそうです。この冊子は第2650地区(福井・滋賀・京都・奈良)のマニュアル編集委員会が作成したもので、いまでは陰のベストセラーになっているようです。

さっそくクラブ管理の部分を開いたところ、「(会長は)形式上のクラブ代表者であり、しばしば象徴としての天皇に例えられる。」とありました。この文章は相当大胆な説明です。ロータリークラブの会長は形式的なものであると言っております。

一方「幹事は執行部門の代表者として、内閣総理大臣に例えられ、実務上の権限と責任を持つ。」とあります。また「(会長と幹事は)対内的にはクラブ運営の責任と事業の執行権および役員や委員長の任命権を合わせ持つが、執行権は本来の代表者である幹事に任せるべきであろう。」ともあります。ここでも会長は形式的な存在です。新潟ロータリークラブには素晴らしい幹事がおりますので、これなら私にも会長職は務まりそうです。

しかし次の文章が続きます。「会長はクラブ運営と言う大きな責任があり、強いリーダーシップが要求される。…会長に就任する年齢が極端に高い日本からは、働き盛りの国際ロータリー役員を出すことは先ず不可能なのが現実である。国際ロータリーの中でリーダーシップを発揮するためには、若いクラブ会長を作ることがその第一歩となる。」

強いリーダーシップがあり、しかも若くなくてはならないことが会長の条件ならば、私にはムリです。

いずれにしても、『今さら人に聞けない…』はすごい本で

す。筆者はロータリークラブの実態を本音で語っています。心から敬意を表します。

ところで効果的なクラブの管理運営を図るためにクラブ・リーダーシップ・プランが作られています。『今さら人に聞けない…』では「リーダーシップ」が10カ所も出てきますが、リーダーシップをどう発揮するかの説明はありません。

ところでリーダーシップの型にはアメリカの強制型と日本の調整型があります。私は今から45年前日本の大学を卒業後すぐ渡米し、医学研修を受けました。私のボスの口癖は、I am not working with you. Dr. Yamamoto! You are working with me.でした。1960年代後半のアメリカでは、映画に出てくる表現“You are fired.”がまだ現実味を帯びていました。日本で同じように仕事を強制したら、誰も付いて来なくなります。“後ろを振り向いたら誰もいなかった”ことになるはずです。さらに最近ではパワハラで訴えられる危険性もあります。そこで私はもっぱら調整型リーダーシップを心がけています。

ところが1990年代に入り、アメリカと日本のリーダーシップ像は逆転したといわれています。アメリカは権力を振るうだけのリーダーシップよりもっと効率的に組織を管理運営する仕組みを考えたところ、到達した結論は日本的なものとなりました。一方日本では、入社3年で転職するような“新人類”をまとめていくには、アメリカ的な強制型が必要になってきたようです。お互いに歩み寄り、落ち着くところに落ち着いた感じがします。

このことを参考に会長のリーダーシップは両者の良いところを取り入れ、さらに“変幻自在”に対応したいと思っています。

以上まとめると、会長はクラブ代表者として、執行権は幹事に任せ、リーダーシップは“変幻自在”に対応したいと思っています。あと半年、なにとぞよろしくお願ひします。本年最後の会長挨拶となりますが、皆さま良い年末・年始をお迎えくださいませ。

(3) 新会員の紹介



(株)ビップ
代表取締役副社長
坂井 賢一
出席委員

下田村という山奥で生まれ、高校卒業後東京の学校へ進学するために上京。卒業後東京で働いたが地元に戻って今の会社「株式会社ビップ」に勤務。同級生である大親友が昨年12月にガンを告知され、毎日お見舞に行っては、生かされている自分に感謝。彼は今年11月に亡くなりました。その1ヶ月後に私は60才となり、還暦を迎えその時健康で働けることに感謝しながら新しい道を切り開いて行くということで入会させていただきました。

(4) 福地利明君へマルチプル・ポール・ハリス・フェロー・ピン贈呈

(5) 2014年～15年度地区役員委嘱状伝達

- ・米山寄付増進委員長 宇尾野 隆君
- ・R財団資金管理委員長、奨学金委員
得永 哲史 君
- ・ロータリー地域協働ネットワーク/副センター長
小林 悟君

(6) 2012-13年度 鈴木ガバナー賞伝達

- ・30年以上連続出席ロータリアン表彰
・加島 長作君・小山 楯夫君・小林 悟君
・田中堅一郎君・本間 彊君・福地 利明君
- ・永年在籍ロータリアン表彰
・伴 昭彦君
- ・長寿ロータリアン
・横山 芳郎君

(7) 委員会報告

・本間 彊 IA 委員長

昨日(12月23日)、万代シティで新潟市内5校IA主催の献血活動が実施されました。新潟クラブからは7名(鈴木滋弥さん、坂本務さん、高橋秀松さん、望月大輔さん、内田直紀さん、大澤強さん、本間彊)が参加し新潟明訓高校からは顧問の斎藤圭太先生とインターアクター6名、合計300名程の参加があり、ロータリアンとインターアクターと良い交流が出来たかと思えます。坂本さんと内田さんは自ら献血もして頂きました。万代シルバーホテルの大広間をお借りして食事や休憩をさせてもらい、美味しいカレーライスを頂きました。高校生は2杯も3杯もおかわりをしていました。献血には良質な血が求められておりまして、69歳以上と前

日にお酒を召し上がった方はご遠慮いただくそうです。来年は新潟クラブが担当となり会場設営から全てやらなければなりません。

・岡村 健吉 親睦委員会委員長

2014年1月21日に新年家族会を開催致します。楽しい会にしたいと思いますので、参加をよろしくお願い致します。

(8) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付

樋熊 紀雄君

米山奨学会寄付発表(徳永 昭輝委員長)

宇尾野 隆君 徳山 啓聖君

徳永 昭輝君

青少年育成基金寄付発表(若槻 良宏幹事)

本間 彊君

(9) ニコニコボックス紹介(坂本 務委員)

・竹石 松次君 新会員、坂井賢一さんを迎えてニコニコします。

・徳永 昭輝君 ①坂井賢一さんを迎えて。②細野さんの御嬢さんの長男を帝王切開で出産させて頂きました。

・細野 義彦君 12月20日とくなが女性クリニックさんで5人目の孫で、初の男子誕生!! 母子共に健康でホッとしています。徳永先生に感謝!! しばらくは先生の三歩退って歩きます。

・宇尾野 隆君 弊社の「雪室熟成豚」が日本テレビぐるナイの「ごちになります」のメニューに採用され、先週、小千谷の雪室で食材ロケがありました。放送は1月2日の18:00～になります。是非、ご覧になって下さい。竹石さん、金親さん、玉さん、高橋さん、坂本さん他局ですみません。

・五十嵐幸雄君 コバリキ創業100周年おめでとうございます。数十年前、移転前の小林家と同じ町内の隣組で、大変お世話になりました。当時の建ちゃん(本日の会員スピーチの人です)は、お母さん似のくりくりした目がかわいい坊ちゃんでした。

(10) 幹事報告(若槻 良宏幹事)

・例会終了後、新会員オリエンテーションを4階「楓の間」で開催致します。

・1月のロータリーレートは1ドル= 102 円 になります。

・ロータリー事務局は12月28日から1月5日までお休みさせていただきます。

(11) 会員スピーチ

「コバリキ100周年記念「小林力三物語」

(株)コバリキ 代表取締役社長 小林 建君

(12) 本日の出席率 70.79 %

(2週間前メーク後 87.50 %)

1月7日の例会予定

会員スピーチ

「第一生命キャンペーンからみる世相変遷」

第一生命保険㈱新潟支社支社長 長谷川 秀彦君

新潟ロータリークラブ会員専用ホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>

会員専用ページログイン情報

ユーザーID niigata

パスワード rcrerc